



# 第24号

平成8年7月1日

発行所

坂田郡近江町飯12-3

天の川沿岸土地改良区

☎(0749)52-0067(代)

## 天の川東部・東部南地区 県営ほ場整備事業竣工式典挙行

### 事業経過報告

### 特性を生かした地域農業の確立を

長浜県事務所土地改良課長

今井博美

天の川東部地区、東部南地区県営ほ場整備事業が、平成六年度七年度とつづいて完了となりましたので、その合同竣工式を去る二月十五日近江町立中央公民館に於いて挙行しました。

この日はまず、両地区記念碑前で関係者が細野神官によりお祓いを受け無事竣工を感じ、記念碑を除幕して将来の発展を祈念しました。

このあと十時三十分からの竣工式典には、農林水産省大臣官房地方課長の船野様をはじめ近畿農政局、県選出国会議員代理及び、坂田郡選出県議会議員の先生方、県農村整備連盟会長、県知事代理長浜県事務所長以下関係者、土地改良連合会、近隣土地改良区、農協、両町の町長、議会及び町関係者、その他工事施工関係者等々来賓多数の出席

を頂き、地元、改良区関係者を合わせ総勢二〇名で開催しました。



式典は粕淵理事長が式辞を述べ、次に事業経過報告、工事施工業者への感謝状贈呈、来賓祝辞、祝電披露、庶務会計



上 天の川東部地区、下 東部南地区

委員長成宮文雄理事による謝辞に至るまで厳肅な中で取り行なわれました。

立春の春を待ちわびるこのよき日に、多数のご来賓並びに地元関係者のご臨席を仰ぎ、天の川東部、天の川東部南地区の県営ほ場整備事業の竣工式が挙行されますことに、心からお祝いを申し上げます。

また、本日ここに事業の経過報告が出来ますことは、私にとりまして誠に光栄とするところでございます。今日までの地元役員の方々をはじめ関係各位の多大のご理解とご協力に対し、深く感謝を申し上げます。

さて、両地区は古くから交通の要衝として重要な地域で、

また農業も盛んなところでありますが、近年の厳しい国際情勢の中、農業分野においても生産性の高い近代的な農業への転換が急務となって参りまして、これを契機に天の川沿岸土地改良区、近江町、米原町ならびに関係農家の熱意と、日夜を分かたぬご尽力により、県営ほ場整備事業として昭和六十年度に天の川東部地区、昭和六十三年度に天の川東部南地区に着手して以来、十一年の歳月を経て、今日の日を迎えた次第でございます。

ここで事業の経過をたどりますと、天の川東部地区は昭和五十九年度に調査計画を樹立し、その翌年度の昭和六十年に国の事業採択を受け、五千三百萬円の事業費で能登瀬工区の4.6ヘクタールの区画整理工事に着手したのを皮切りに、高溝、顔戸、新庄、箕浦、多和田、日光寺工区へと施工を進めたところでございます。

特に、平成二年度には当地区之最盛期となり事業費七億八百万円をもって、65.5ヘクタールの施工とあわせ、息長揚水機場の設置も完了となりました。

平成三年度に、日光寺の整地工を施工して、面的な工事

は全て完了しましたが、その後、農地の汎用性を高めるための暗渠排水工事と農道舗装工事を実施して参ったところです。

換地処分につきましては、東部地区では平成三年度高溝・顔戸工区に始まり、能登瀬工区・新庄・箕浦・顔戸工区・日光寺工区と次々に完了し、平成六年度の多和田工区を最後に全て完了いたしました。

一方、天の川東部南地区は昭和六十二年に調査計画を樹立し、その翌年度の昭和六十三年に国の事業採択を受け、五千三百萬円の事業費で蒲原工区に着手したのを皮切りに、寺倉、西円寺、番場、岩脇工区へと施工を進めたところでございます。

特に、平成三年度には事業費三億三千万円で、区画整理工20ヘクタールと番場揚水機場を施工し、翌年の平成四年度は当地区之最盛期をむかえ、事業費四億六千万円をもって、面整備、暗渠排水、農道舗装等の各種工事を実施いたしました。

平成五年度に、岩脇工区の整地工を最終に、面的な工事は全て完了しましたが、その後、引き続き暗渠排水工事と農道舗装工事を実施して参

ったところです。換地処分につきましては平成三年度蒲原工区に始まり、寺倉工区、番場工区、西円寺工区と次々に完了し、平成七年度の岩脇工区を最後に全て完了いたしました。

天の川東部地区におきます総事業費は、二十六億九百万円で整備面積136.7ヘクタール、天の川東部南地区におきます総事業費は、十七億七千八百万円で整備面積80.1ヘクタールとなり、両地区を合わせ、総事業費四十三億八千七百万円を要した216.8ヘクタールの近代的な生産性の高い農地が誕生したのでございます。

幾多の難工事に際して、大きな事故もなく今日の日を迎えられましたのも、農林水産省をはじめ近江町、米原町のご協力は言うまでもなく、天の川沿岸土地改良区の役員をはじめ関係農家のみなさまの筆舌に尽くせないご尽力、さらには直接工事の施工に当たっていただきました関係業者のご協力の賜でございます。改めて心から感謝を申し上げます。

特に昨今の農業情勢は内外共に厳しいものがございますが、今後とも、整備された農

地を有効に活用していただき、地域の特性を生かした足腰の強い地域農業を確立していただきますよう、一層のご尽力をお願いいたし、潤いと活力

眞の農業おこしを展開努力し、農業経営に光をもたらし

理事 柏 淵 光 夫

式 辞

如月の銀雪を頂く秀峰伊吹の山を借景にして、本日茲に県営天の川東部・東部南地区のほ場整備事業の竣工式を挙行に際しまして、ご多用な中を態々ご出席下さいました多数のご来賓をお迎えしての本式典に錦上添花を添えて戴きましたことを、私のみならず役員一同この上ない喜びとするところでございます。衷心より感謝を申し上げます。

本地域は、天与の清流天の川をはさんでの地域で、二地区の整備面積二六八.四haで、事業費四三億八、七〇〇万円

で何れも、琵琶湖総合開発関連事業で施工されています。地形的に平地と中山間部に入線の整備地帯であり、中山間地に入る程、ほ場形態、土質も異質で、また高低差きびしく、法面巾、高さも大きく、加えて用水確保のための補強等

のある農村社会が形成されま

すことを祈念いたしまして、簡単ではございますが事業の経過報告とさせていただきます。

平地より揚水高も二十八メートル余の高地配水に対して二段揚水のポンプ場を二ヶ所に設置しての水稲栽培可能地としての施設を設け、合理的用水の配分と管理を容易にした水利施設も完成しています。

本事業は、昭和六十一年起工式を挙げ着工以来実に十一年余を経過しました。この間、農水省を始めとして、関係の皆さん方に限りないご支援を戴きました。本事業計画設計や受託工事の業者の方々、各工区役員さんの昼夜を分たぬご努力によるもので、こうした総合的協力結果による成果が、お陰さまで竣工の二字に繋がりを持ちました。多大なるご支援とご貢献に対しまして幾重にも厚くお礼を申し上げます。

さて、我が国農業農村の未来像は、アメリカのジャーナ

リスト、アルビン・トフラの言葉引用しますと、世界農業は、第三波の時代に入っているといわれ、人類の農耕時代を第一波とし、産業革命を終えて技術革新第二波、科学技術の発達点が第三波として今や自然環境文化に入り未来に大きな夢を描き、意欲的農集団の形成、国民全体を巻きこんでの消費者ニーズのとりこみ食糧安定供給を図り、更には自然と生命についての教育現場づくりをして多面的公益的機能を発揮すべきことこそ大切であります。URの農業合意の受入れての国際化の荒波を乗り切る、それは今後の自らの足場を固めて、目指すものは、平成農業維新を確立する気概を持つべきでしょう。莫大なる農業投資を前提としての農業経営は明日への素晴らしい希望の光をみつめつつ真の農業おこしを展開することこそ期待に込める道であり徹して努力することです。ご臨席の皆様には今後共格別なるご支援ご指導下さる様に、お願いをいたします。

大変なご尽力下さいました全国ほ場整備連盟会長でもありました今は亡き山下元利先生のご恩顧でございます。先生は有難うございました。先生は何時も控え目で常に信念を持って温かいまなざしで心よく何事も引き受けてご尽力下さいました。このこと偲びますと感慨無量であります。唯

「お祝いのことば」

さらなる農業・農村と地域の発展を

農林水産省 大臣官房

地方課長 船野龍平

県宮ほ場整備事業、天の川東部地区及び天の川東部南地区の竣工にあたり、一言お祝いを申し上げます。

ご出席の皆様方には、日ごろから農業農村整備の推進にはもとより、地域の推進に格別のご尽力をいただいておりますことに対しまして、心から厚くお礼申し上げます。

私は、ただいまご紹介いただきました農林水産省大臣官房地方課長の船野龍平でございます。ご承知のように、昭和六十一年四月からの二ヶ年は本県の耕地課長として、本日ご出席の方々と共に仕事をさせていただきました。

この上は竣工のご報告を申し上げご冥福をお祈りいたし、最後に山下先生を鏡として私の残り少ない人生に香りを留めて改良区伸展のため、努力の道を元氣よく歩んで行きますことを新たな誓いを申し上げ式辞といたします。有難うございました。

今日は、なつかしい方々とおめでたい席で久しぶりにお会いすることができ、当時は思い出しながら、大変喜んでおります。

特に、天の川地区につきましては、皆様の熱心な取り組みによりほ場整備事業が年次計画以上に進み、用水手当が追いつかず、次年度に予定していた揚水機を、補正予算により六十二年度に追加して設置したこと等が昨日のことのように思い出されます。

さて、我が国の農業農村は、農業従事者の高齢化、規模拡大の遅れなどに加え、ウルグアイ・ラウンド農業合意の実



生まれ変わる田園風景 (寺倉工区)



# 第42回通常総代会開催

## 平成6年度事業報告等全議案可決

第四十二回通常総代会を去る三月七日午後一時三十分から開催しました。総代三十四名をはじめ来賓として長浜県事務所、近江町、米原町の担当課長の出席を頂き、議長には能登瀬の古野忠良総代が選出され全十六議案について慎重審議の結果、原案通り可決決定しました。

### 通常総代会提出議案

- 第1号議案 平成六年度事業報告の承認について
- 第2号議案 同年度一般会計収支決算の承認について
- 第3号議案 同年度特別会計収支決算の承認について
- 第4号議案 同年度財産目録の承認について
- 第5号議案 平成七年度事業計画変更議決について

施に伴う新たな国際環境への対応などの問題を抱えているなかで、食糧の安定供給、活力ある地域社会の形成、国土・環境の保全等の重要な役割を担っております。

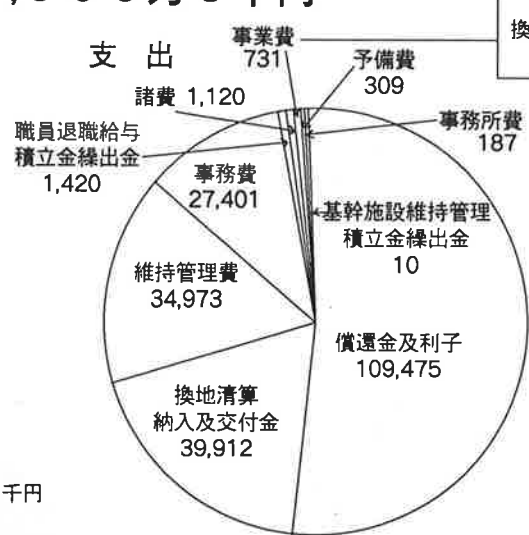
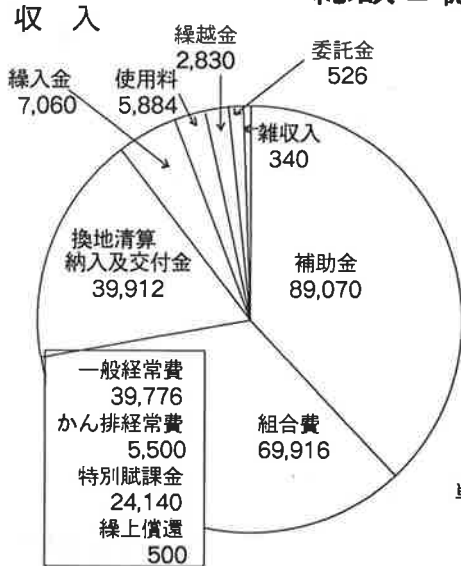
このような状況のなかで、農林水産省といたしましては、「新食糧法」の制定、「ウルグアイ・ラウンド」農業合意関連対策」の策定等、我が国の農業・農村の持続的発展を目指した施策に取り組んでいるところであります。

年に着工されました天の川地区の県営かんがい排水事業を始めとし、次々とほ場整備事業に取り組み、成果を上げられてきた地域であります。貴土地改良区におかれましても、この竣工を契機とされ農業・農村と地域の発展に大きく寄与されますことをお願い申しあげます。

- 第6号議案 同年度一般会計収支補正予算議決について
  - 第7号議案 同年度特別会計収支補正予算議決について
  - 第8号議案 同年度土地改良事業資金の借入及び償還方法変更議決について
  - 第9号議案 規約、諸規程の一部変更議決について
  - 第10号議案 平成八年度事業計画議決について
  - 第11号議案 同年度一般会計収支予算議決について
  - 第12号議案 同年度特別会計収支予算議決について
  - 第13号議案 同年度役員報酬の決定議決について
  - 第14号議案 同年度賦課金の額及び徴収期日議決について
  - 第15号議案 同年度一時借入金の最高限度額及びその借入方法議決について
  - 第16号議案 役員(理事)の選任について
  - 附帯決議
- 以上

## 平成8年度一般会計収支予算

総額 2億1,553万8千円



事業負担金 205  
換地事務費 526

単位：千円



《総代会挨拶》

第四二回通常総代会を開催いたしましたところ、公私ご多忙の中、事務所今井課長、近江町米原町の各担当課長のご出席を頂き盛大に開催できま

すこと有難く厚くお礼申し上げます。 われわれの永年の念願でありましたかん排とは場整備の両事業がまさに天の時と地の利そして人の和を得て十七年の歳月を経て完成することができました。この間、たくさんの皆様のご支援、ご協力を頂き二月十五日最終の竣工式をあげることができ全十八工区すべて完了となりましたこと心より喜びとするところであります。西部、西部南、東部、東部南の四地区全工区の皆様の日夜に亘るご尽力により幾多の困難な問題を克服して頂いたご努力に対し、衷心より厚くお礼申し上げます。お陰様で、これによって地域農業の核となる基礎づくりができました。この上に立ってこれから当改良区も膨大な施

維持管理に

更なる御協力を

理事長 柏 淵 光 夫

設備の維持管理をしていくことになりすが皆様方の更なるご協力をお願いしたいと思います。私もこの大事業に昭和五六年から役員として挑戦して参り、大過なく今日を迎えましたこと誠に感慨無量でございます。

これからの農業はウルグアイ・ラウンドの合意に基づき厳しい時代に突入していきま

す。農家の収入も増えない、合理化は進めるといふ観点から、農水省の各事業も農地集積による合理化、生産拡大を目的に奨励され計画されています。これから自然環境に深く配慮した農業に皆さんと共に英知を集めて切り開いていくことを考えている次第であります。改良区運営にも万全を期していきたいと思います。本日ご提案します議案の十分な御審議をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。



平成8年度賦課金額

1. 一般及びかん排経常費賦課金(10アール当り)

Table with 4 columns: 地区, 一般経常費賦課金, かん排経常費賦課金, 計. Rows include ①普通かん排地区, ②普通地区, ③湧水地区, ④特別地区.

2. ほ場整備事業費経常費賦課金: ほ場整備事業実施全工区 400円 (但し換地処分の翌々年度から150円)

3. 事業費賦課金(ほ場整備償還金: 10アール当り)

Table with 4 columns: 工区, 単価, 工区, 単価. Rows list various districts like 宇賀野, 世継, 長沢, etc.

平成8年度農地転用決済金額

(10アール当り)

Table with 3 columns: 地区, 転用決済金額, ②~④の各地区を除く全域. Rows include ①普通かん排地区, ②普通地区, ③湧水地区, ④特別地区.

役員(理事)異動 山川氏酒井氏を選任

今回の総代会で理事の補充選任がありました。員外理事として長年に亘り御尽力頂きました、故山川茂前町長に代わり山川増水町長が、又大字能登瀬の事業推進等まとめ役として御尽力頂いていました鹿取源吾理事が辞任され、後任に酒井明和氏がそれぞれ選任されました。

平成6年度一般会計収支決算状況

Table showing income (収入) with columns for amount and percentage. Rows include 1 組合費, 2 使用料, 3 補助金, etc.

Table showing expenses (支出) with columns for amount and percentage. Rows include 1 事務費, 2 事務所費, 3 維持管理費, etc.

### こんな時には 必ず届出を

#### 農地転用

当改良区の受益地内の田を宅地、駐車場、資材置場等に転用する場合は、田を畑に転換する場合は、所定の用紙をもって届出されると共に、決済金及手数料を納入して下さい。届出を行なわれない場合は次年度以降も賦課徴収することになります。

#### 資格得喪通知

田を売買、交換、贈与、相続等により所有権移転される場合及び、農業者年金受給により後継者移譲をされた場合は、所定の用紙により届出が必要で、届出が行なわれない場合従来通りに賦課されます。

#### 繰り上げ償還

本年もほ場整備事業費(借入金)の繰り上げ償還を受け付けます。番場工区と岩脇工区の方については初年度となりますので組合を通じて連絡します。その他の工区の方は個人申請となります。印鑑持参のうえ窓口で手続き願います。当初償還条件にありましたが、一工区五〇万円以上という条件が緩和されました。

### 平成7年の 揚水の反省

本年は6月頃までやや低温気味で雨量も多目であったため、ポンプ揚水も大体計画通り推移し時々休むといった状況でありました。7月に入ると更に雨が多く25日まで休止期間を延長できましたが逆に日照不足や長雨という異常気象ではないかと心配もしました。しかし以後暑い夏空が続きました。しかし以後暑い夏空が続きました。しかし以後暑い夏空が続きました。

用水状況をみると毎年のことではあります。慢性的な水不足の箇所が何地区か発生し、地域関係者の御協力を得ながら送水バルブを調整し対応しました。このような水不足の主たる原因は、分水工に近い所での水使用が多過ぎることにあります。特に穂水期には、排水口からの落水や畦畔からの漏水などを放置して、水不足で困っている末端の人のことを考えない一部の人の原因があると思われまます。更にその原因を突詰めて考えるとき、最近の米作りに対する「粗放性」にあるのではないのでしょうか。米価は上がらないし手間をかけていられないという風潮ではあります。水は無限度ではありません。粗放な水管理はみんなの迷惑であり、自分が困ることにもなりません。

田の管理状況を見ただけでは耕作者の人柄がわかると言う人がいます。田は自分を映す鏡と考え適正な管理をし節水について真剣に考えてもらいたいと思います。

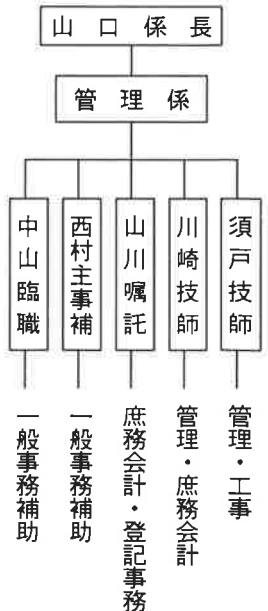


### 土地改良事業 功労者表彰

滋賀県土地改良事業団体連合会の土地改良事業功労者表彰が行なわれました。受賞者は次の方々です。

- 会長表彰 (三月十五日)
  - 前事務局長 澤 友嗣
  - 支部長表彰(五月二十四日)
    - 個人 新庄箕浦戸工区 庶務委員長 池野重憲
    - 団体 多和田ほ場整備組合

### 平成8年度事務局組織図



### 揚水停止後の 耕作についての注意

#### 一筆バルブ

揚水停止後バルブ付近の耕作について注意して頂いて欲しいと思いますが、今だに破損事故が起こります。機械の大型化により気付かないうちの接触又は、コンクリート円筒升には注意していたが下に敷かれたコンクリート板に車輪が乗った為に起こる破損等による漏水は四月の揚水時に判明します。修理費は原因者負担は勿論ですが、修理の前後暫くの間付近の送水を停止しみなさんに迷惑がかかります。呉々も御注意下さい。

#### オープン水路

一方ほ場整備地区内のオープン水路では、秋以降送水を止める為、風で運ばれたゴミや枯草が溜り、春の送水直後下流で詰まり水があふれる所が見られました。春先の水路清掃をよろしく願います。

### 編集後記

春の低温に始まった本年の揚水需要期であります。その後もち直しの田も良い株に成長しています。ただ少雨傾向でポンプはほぼ計画通りの運転ですが、出来る限り節電したい。しかし大雨は困ると思いつながら梅雨空を見上げているこの頃です。

一方この春送水管の漏水が数箇所ありましたが、元の協力を頂きながら何とか対応して来たという状況です。

事務局は昨年より一名減の少人数で運営しています。即対応といかない場合もあるかと思いますが、一層の御理解御協力をよろしく願います。